

GAUKU

ena 創立50周年記念号



CONTENTS

〈特集①〉 ena 創立50周年

50周年に際して
ena 学院長
河端 真一

4

ena 創立50周年記念
祝賀パーティーを挙行

5

ena の50年を振り返る。

6

50周年を迎えたenaの今。

10

〈特集②〉 ena の冬期講習会

14

〈特集③〉 ena の合宿場がさらに充実
富士山合宿場3号館が誕生。

24

〈特集④〉 校舎ブログ発信中

30

〈ena
トピックス〉 塾生専用アプリ ena base
探究Camp・Campらいぶ
ena が埼玉県へ進出

32

〈特集⑤〉 都立高受験に備える

34



50周年に際して

思えば幸せな50年でした。

アルバイトとしての大学1年時の創業。しかし半年後には、もう塾は一生を貫く天職と思うに至りました。4年後の大学卒業時には迷うことなく1500人の生徒とともに社会に踏み出しました。爾来50年、enaは全世界に進出し、東証プライム市場に上場し、教育のDX化に取り組んでいます。

しかし私の思いは50年前と全く変わりません。ただ目の前の生徒諸君、保護者の皆様に幸多かれと日々努力するだけです。50周年を目前にした近年のコロナ流行には、予定していた周年準備をすべて放擲し、コロナ対策にとどまることなく全力を職域接種に投入しました。社内に実施に当たって議論、時に激論があったことも事実です。しかし我々の仕事はご家庭の安寧が前提で、そのために努力するのは当たり前のことなのです。職域接種を厚労省、東京都、渋谷区と折衝し、

日航、全日空を除く他のどんな企業より早くスタートしました。接種は保護者様とご家族、教職員とその家族、校舎近隣の方々、そして生徒にも行いました。保護者様からは「命の恩人です」との過分なお声もいただきましたが、50年に際してどんなものより素晴らしい記念碑が、私たちの心の中に建ちました。

これも教育です。子供たちは我々大人を注視しています。普段立派なことを言う大人が、このような困難に際してどう動くのかを見ている。何もしなければ子供たちに対する説得力を失います。大人は背中でも子供を教育しなければなりません。

私たちは創立以来、社業の傍ら社会貢献活動を続けてきました。国立の旧本社近隣の養護施設支援に始まって、阪神淡路大震災支援、養護施設へのランドセル進呈、派遣切り・日比谷公園派遣村支援、北海道夕張支援、東日本大震災支援、ウクライナ難民支援などきりがありません。SDGsなどという言葉ができるはるか前から、社会の一員としてすべきことをしています。

50年先、我々は何をしているのでしょうか？

もちろん50年前と同じです。春、生徒を迎えて、夏、合宿で星を見ながら夢を語り、秋はねじり鉢巻き、そして除夜の鐘を正月合宿で聞き、元旦から「栄華の巷低く見て」勉強です。入試前日は出陣式、私は「俺はみんなの跳び箱の踏切台だった。明日こそ俺の背中を思い切り蹴れ。しかしこれまで痛かったけど心地よかったぞ。」と涙と共に言明し、入試当日は「背伸びするな。等身大の自分を解答用紙にぶつけてこい。」と校門前で激励しているでしょう（生きていれば）。合格発表日には歓喜の涙、悔恨の涙が流れ、捲土重来の決意がみなぎります。

そうです。50年後もenaは近代企業などではありません。涙でできた「塾の中の塾」なのです。



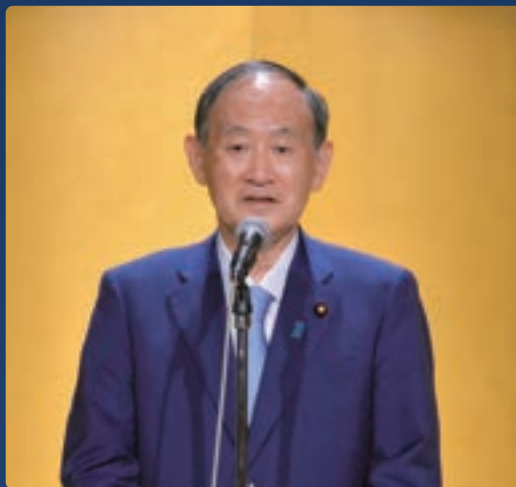
ena 学院長
河端 真一

法学博士。京都市生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業、一橋大学大学院博士課程修了。元一橋大学客員教授。大学入学と同時に学習塾を生徒5人で開き、大学卒業時には生徒1500人を擁する大手塾に成長させる。1976年株式会社学究社を設立、85年株式上場。2015年東証一部指定。2022年東証プライム市場に移行。東京都最大塾に成長し、自らの授業は「2か月で偏差値が20上がる」と謳われる。

e na 創立50周年記念 祝賀パーティーを挙行



小池百合子東京都知事からもビデオにてメッセージをいただきました



国葬の翌日にお越しいただいた菅義偉元首相



祝賀パーティーが挙行された帝国ホテル「富士の間」



創立50周年への想いを語る河端真一学院長



GAKUの学院長対談にも登場いただいた下村博文元文科相

2022年9月28日(水)、e naの創立50周年を記念する祝賀パーティーが挙行され、菅義偉元首相、下村博文元文科相をはじめ、日頃お世話になっている多くの方々にお集まりいただきました。パーティーは厳かな中にも、どこかアットホームな雰囲気にも包まれながら進行し、多くの方々から大変ありがたい祝辞をいただきました。

e n a の50年を振り返る。

創設期

1972～1982

私がenaの前身である「国立学院」という小さな学習塾を始めたのは、1972年、大学1年生の秋でした。何か自分にできることはないかとアルバイト感覚で始めた塾教育でしたが、授業終わりにガストロップを開んで生徒たちと将来について語り合っているとき、子どもたちが目を輝かせながら、私の話を聞いてくれる姿に感激し、これこそが私にとって、「たったひとつの天職」だと気づいたのです。

1972

東京都国立市に「国立学院」を創立

教師2人、生徒5人でスタートした「国立学院」。ガストロップひとつだけの寒い部屋で、小さな黒板、しかも時間貸しの部屋だったため壁に設置されておらず、ついたて型のものを使っていたの授業でした。河端学院長も弱冠二十歳。まだ生徒たちとも年齢が近く、いつも本気でぶつかり合う、まさに「熱誠指導」でした。常に子どもたちの将来を何とかしたいと真剣に取り組み、真摯に指導する学院長の姿勢は、50年経った今も変わりません。



1976

株式会社学究社を設立

河端学院長の大学卒業時には、生徒数は約1300人にまで増加。国立学院の教室も7か所に広がっていました。その後、アメリカの「チェイン・オペレーション・システム(COS)」を導入し、さらに大型の教室を開東1都3県へと拡大することで、学究社は大きな発展を遂げていくことになります。なお、大学時代に学者の道に憧れたものの、塾経営に専念するためにその道を断念した学院長の熱い思いが、「学究社」の社名には込められているのです。

1982

創立10周年記念館(KG9)を東京都国立市に竣工

当時、私塾界最大規模の建物であり、本館、新館を合わせると都内予備校にもひけをとらない新校舎が完成しました。高校生および浪人生(新しく浪人も開講)をメインターゲットとし、学院にとっては新しい分野を開拓するとともに、「本部」としてひとつの形を整える役割も果たします。創立10周年にふさわしい記念館として、世間からも大きな注目を浴びました。



創設期

1972(昭和47)年

・東京都国立市に「国立学院」を創立

1973(昭和48)年

・5名の1期生卒業。

・5名揃って難関と言われる高校に合格する

・5名の生徒の口コミから生徒数が50名に増える

1974(昭和49)年

・生徒数が150名となる

1975(昭和50)年

・生徒数が450名となる

1976(昭和51)年

・河端学院長が大学卒業時には生徒数1300名となる

・株式会社学究社を設立

1977(昭和52)年

・「国立学院」を「国立学院予備校」と改称
・初の独立校舎となる国立校本館竣工

1978(昭和53)年

・高校部が正式に設置される

1980(昭和55)年

・国立校新館(フースアネックス)竣工
延300坪 総工費2億余円、6階建て校舎
・夏期講習期間中、初の試みとなる「父親セミナー」を開催

1982(昭和57)年

・創立10周年記念館(KG9:学院9番目の建物)を東京都国立市に竣工



成長期

1983～1992

私塾界で我々がこれから目指すべきことは、私塾界の近代化なのです。我々が寄って立っている私塾界というものは、非常に脆弱な、言うなれば中世暗黒時代的な基盤に立って成立しているような状況なのです。それを近代化して行くことが、非常に大きな課題です。

1985

業界で初めて株式を店頭公開

10月16日に社団法人日本証券業協会の承認により、業界で初めて株式を店頭登録。12月3日から証券会社の店頭で株式の売買が開始されました。河端学院長は当時を振り返り、「はつきり言って、この業界は前近代的でした。我が社の成長も大切ですが、むしろ学習塾業界を世間の一般常識のレベルまで向上させたいとの狙いが、株式公開にはありました」と語ります。ちなみに会社設立後最短・最年少経営者による上場記録でもありました。



開校初日に河端学院長が、 女子生徒から投げかけられた 質問とは？

学院開校時の「もうひとりの先生」が書いたエッセイ
(1976年の職員報掲載)より一部抜粋

国立学院は昭和47年9月に始まり、既に4周年を経た現在、生徒総数1,409名という隆盛を迎えていますが、私は、僅か10名足らずの生徒を河端氏と共に相手にしていた開設時から、昨年3月大学卒業までの3年半、国立学院に教師として籍を置いておりました。

(中略)

改造前の国会館2階1室を使用して、週2回開講、科目英語(河端氏担当)、数学(私担当)、中学3年生1クラスのみでスタートし、集まった生徒は10名足らず。初日は2科目のテストを実施したのですが、そのテストのあとの生徒との懇談で、一人の女子生徒が私たちに対し、大学生であるかを尋ね、そうだと答えると、さらに、学生のアルバイトとしてやっているのかと尋ねてきました。その単刀直入の質問に、私などは心中では立ち往生していたのですが、河端氏の「教えることが好きだから始めた」という趣旨の返答で身をかわし、とにかく初日を終えたのです。河端氏が学院経営に以後本格的に取り組んでいることと、このような初日の出来事の間に因果関係があるのかどうかは知る由もありませんが、あの返答は正直な告白でもあるのであって、現在の彼にふさわしい初日であったという気がします。

(中略)

結局、最初の半年は、何もかもが初めての経験で、拙さの展示会のようなものでしたが、それでも、当時の3人の生徒が、3年後の本年4月に大学に入学したと連絡して来てくれました。3年ぶりに3人と再会した時の喜びは、当時を知る河端氏と私とのみが味わい得たものでした。

1987

アメリカに進出。ニューヨーク校新開校

創立15周年を機にニューヨーク校を開校。そこには日本企業の海外進出とともに、海外在留勤務者が増加し、「子どもが帰国後も日本の教育環境に素早く適応でき、さらには受験にも対応した進学塾」が強く求められる背景がありました。いち早く海外マーケットを視野に入れた学究社の事業展開だったと言えます。



1991

最難関受験のための専門塾「ENA」を開校

enaはもともと大文字の「ENA」で表記されていました。フランスの超エリート教育機関と同じ名を冠した「ENA」は、最高の教師陣で構成された教育網連合(Education Network Association)の頭文字で形成されています。が、実は「私、関西人なので、『えんう』の響きが気に入ったことも否定はしません」と、河端学院長。

成長期

1983(昭和58)年

- ・学院全校生徒が一堂に会し、初めて日本武道館において入学式を挙行
- ・浪人部開講。同時に大学受験本部も組織され、大学受験に強固な土台作り

1985(昭和60)年

- ・受験シリーズに学院の話題が連続的にテレビ、週刊誌、雑誌、新聞、ラジオなどで取り上げられる

- ・社団法人日本証券業協会の承認により、業界で初めて株式を店頭公開

1987(昭和62)年

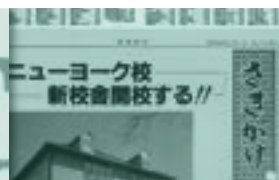
- ・アメリカに進出。
- GAKKYUSHA USACOLTD設立。
- ニューヨーク校新開校

1991(平成3)年

- ・最難関受験のための専門塾「ENA」を開校

1992(平成4)年

- ・ドイツに進出。
- 現地法人GAKKYUSHA EUROPE GmbHを設立。
- デュッセルドルフ校開校



転換期

1993～2002

90年代は我々にとって、本当に厳しい時期でした。赤字を記録したこともあったのです。その時に学究社を救ったのは、上場後1年目に100万株の公募増資で得た資金でした。公募増資というのは新しい株券を発行することで、お金を刷るようなものです。そのお金があったからこそ食いつなげたわけで。今だから言える話ですが…。

1993

「国立学院予備校」を

「ENA・KG国立学院予備校」に改称

1996

「ENA」と「ENA・KG国立学院予備校」を

「ena」に改称・統一

最難関受験の専門塾「ENA」開校の流れを受け、1993年に国立学院予備校を「ENA・KG国立学院予備校」へと改称。ENAは都心型、ENA・KGは郊外型の位置づけでした。そして3年後の1996年にはENAとENA・KG国立学院予備校が現在の「ena」へと改称・統一されたのです。ちなみに当時のパンフレットの「ena」ロゴの上には「自在な思考」の文字が添えられていました。

2000

株式会社インターエデュ・ドットコム営業開始

「保護者や受験生に教育現場の生きた情報を届け、教育業界への要望もダイレクトにできるようなコミュニケーションの場を作りたい」との思いから開設されたインターエデュ・ドットコム。保護者のための教育と受験の総合サイトとして、「ena」を紹介するためのサイトではなく、完全に中立な立場を保って情報を発信しています。

改革期

2003～2012

それはもう、会社中、大反対でした。海の物とも山の物とも分らない「都立中」に社運を賭けるわけですから。しかも授業スタイルが大きく変わり、これまで教師たちが貯えて来たスキルが全く役に立たなくなってしまうます。それでも「大丈夫！」「行ける！」という確信めいたものを私は、感じていました。

2007

「ena清里自然学校」開校

自然豊かな清里高原に1万4000坪もの敷地を確保し、合宿に最適な環境を誇る「ena清里自然学校」が完成しました。豊かな自然のなかで、教師と生徒が寝食を共にしながら、普段では考えられないような圧倒的な勉強量を実現。生徒たちが勉強にだけ集中できる環境の高い効果は、現在の「ena清里合宿場」「ena富士山合宿場」でも実証されています。



2008

進学舎の全株式を取得

2011

「双壁合併」として進学舎をすべてenaブランドに統一



進学舎とenaとの合格実績を合わせると、三多摩地区の都立トップ高校5校の合格実績の合計は、一気にトップに躍り出ること。これまで良きライバルであった2つの学習塾の合併は、まさに「双壁合併」と呼べるセンセーショナルなものでした。その後、ブランドをenaに統一し、まさにenaの躍進は、ここから始まったのです。

転換期

1993（平成5）年

・「国立学院予備校」を「ENA・KG国立学院予備校」に改称

・イギリスに進出。
現地法人GAKK KYUSHU (UK) LTD.を設立。ロンドン校開校

1996（平成8）年

・創立25周年を機に「ENA」と「ENA・KG国立学院予備校」を「ena」に改称・統一

1997（平成9）年

・小学校低学年対象の専門塾「C・ena」を開校

1998（平成10）年

・個別指導塾「マイスクールena」を開校

1999（平成11）年

・最難関校受験のための専門塾「egg」を開校

2000（平成12）年

・株式会社インターエデュ・ドットコム営業開始（インターネットによる受験・教育関連情報提供）

改革期

2003（平成15）年

・「指名委員会等設置会社（旧委員会設置会社）」へ移行

2007（平成19）年

・「ena清里自然学校」開校

・2008年4月の武蔵高附属中、立川国際中の開校に向け、本格的に都立中対策を始める

2008（平成20）年

・1月1日に進学舎の全株式を取得

2011（平成23）年

・全社員研修会・創立40周年感謝の会開催
・「双壁合併」として進学舎をすべてenaブランドに統一

2012

都立中11校合格者数No.1達成
(全都立中11校401名合格)



これまで多摩地域の学校では抜群の合格者数と占有率を誇っていたenaが、ついに都立中11校(千代田区立九段中等含む)で401名の合格者を輩出し、初のNo.1を獲得しました。その後、2022年まで11年連続でNo.1を継続しています。

躍進期

2013~2022

経営者を50年近くやっていて、一番考えることが「省く」こと。要するに「効率化」です。これは受験にとっても非常に大切で、とにかく不要なことをやらない。そのためには、自分の強いところと弱いところをしっかりと理解し、そこにメリハリを付けて取り組む。結局は自分の弱さを自覚して対応できる人間が勝ち残るわけです。

2013

都立中の適性検査対策に
特化したテキスト
「パースペクティブ」完成

都立中合格実績No.1を誇るenaの精鋭教師陣の叡智を結集して完成させたオリジナルテキスト「パースペクティブ」。都立中合格を引き寄せる、適性検査対策に特化した唯一無二のテキストです。このテキストの有効性は、その後の合格実績が物語っています。



2015

東京証券取引所市場第二部への市場変更
東京証券取引所市場第一部指定

1985年の株式公開からちょうど30年の2015年には、東京証券取引所市場第二部への市場変更、続いて第一部指定を実現しました。

2016

本社を東京都渋谷区代々木
1丁目12番8号に移転



2016年12月26日より本部機構を代々木に移転し、新社屋での業務がスタートしました。広々としたエントランスホールが印象的な社屋は地上6階建て。オフィススペースに加え、オンライン授業などにも対応した撮影用スタジオやブースも備えています。

2021

新型コロナウイルスワクチンを
希望者に接種

enaでは新型コロナウイルスのワクチン職域接種をいち早く実施。希望する全職員、およびその家族、さらにはenaに通学する生徒・保護者様への接種を行いました。迅速に対応した結果、万全の感染対策のもと、その年の夏期合宿も無事に実施できました。誰もが安心して学べる環境を用意することもenaの使命です。



2022

東京証券取引所
プライム市場へ移行

創立50周年を迎える2022年春、東京証券取引所の大幅なシステム変更に伴い、プライム市場へと移行しました。



2012(平成24)年

- 都立中11校合格者数No.1達成
(全都立中11校401名合格)
- ena小中学部100校舎を突破(2月)
- 新宿セミナー、
新宿美術学院の営業権を譲り受けることに

躍進期

2013(平成25)年

- 都立中の適性検査対策に特化したテキスト「パースペクティブ」完成

2014(平成26)年

- 富士山合宿場(旧経団連ゲストハウス)開校

2015(平成27)年

- 東京証券取引所市場第二部への市場変更(3月)
- 東京証券取引所市場第一部指定(11月)

2016(平成28)年

- 富士山合宿場2号館を開校
- 本社を東京都渋谷区代々木1丁目12番8号に移転

2017(平成29)年

- 都立高の進学指導重点校7校の合格者がNo.1となる(339名合格)

2019(平成31・令和元)年

- 最難関校合格を目指す「ena最高水準」開校
- 久米川校敷地に久米川タワーが完成

2020(令和2)年

- コロナ禍により、いち早くネットによる映像授業を配信

2021(令和3)年

- 新型コロナウイルスワクチン職域接種をいち早く実施

- 「enaオンラインciass」開校

- 旧国立校敷地に国立タワーが完成

2022(令和4)年

- オンライン学習「自宅ena」を本格導入
- 東京証券取引所プライム市場へ移行
- 学究社創立50周年を迎える
- 富士山合宿場3号館を開校

50周年を迎えたenaの今。

時代に呼応し、
広がる学びのフィールド。

ena

EDUCATION NETWORK ASSOCIATION

「ena」は「education network association=教育網連合」の
頭文字から成り立つブランド名です。

中学受験・受験

ena 小学部

高校受験

ena 中学部

各校舎での対面授業と、すべての授業に備えられた
単方向映像授業を組み合わせた
「ダブル学習システム」による指導を展開。

大学受験

ena 高校部

東大をはじめとする国公立大、早慶・MARCHを
はじめとする私立大受験の指導を実施。

最難関校受験

ena 最高水準

選抜テスト合格者による最難関校専門校舎。
2022年3月時点で中学部は15校、
小学部は2校のena校舎に開校。

個別指導

個別 ena

個別指導に特化した専門塾。
学校の補習から各種受験指導まで幅広く対応。

オンライン家庭教師

ena 家庭教師 Camp

最難関大学在籍教師が指導する、
中高大受験対策のオンライン家庭教師。

オンライン個別指導

ena 個別教師 Camp

2021年10月に誕生した、成績アップ・学習習慣の
確立を目指すオンライン個別指導。

オンライン学習塾

ena class

2021年3月開校。enaの校舎に通わずに、自宅でenaの指導を
受けることが可能。すべてオンラインで行う新しいスタイルの塾。

看護医療受験

ena 新セミ

看護・医療系受験に特化した指導を展開。小論文や面接対策は
一人ひとりに合わせた指導を実施。オンライン授業や映像授業も提供。

芸大・美大受験

ena 新美

芸大・美大受験に特化した指導を展開。
実技対策では一人ひとりの入試を見据えた指導を実施。

帰国生入試

ena 国際部

帰国子女入試対策のパイオニア。海外にて4社、国内にて1社展開し、
毎年帰国生中高大入試で難関校への多数の合格者を輩出。

受験情報専門ポータルサイト

inter-edu.

日本最大級の受験教育情報ポータルサイト『インターエデュ・ドットコム』の
運営をはじめ、教育関係のウェブコンテンツ配信事業や
デジタルコンテンツ作成事業など幅広く展開。

「都立に強いena」を 数字で実感する。

ena小学部
ena中学部

都立中の合格者総数で、enaが初めてNo.1を獲得したのが2012年。ちよつど10年前のことでした。そして今、「都立に強いena」として確固たる地位を築くまでに合格者数を伸ばしています。その過程をあらためて振り返るべく、10年前の「ena校舎数」と「都立中高の合格実績」を比較してみました。

校舎数



101校 → 174校

(2012.02.01時点)

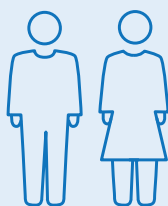
(2022.11.30時点)

合格実績

2012年度→2022年度

都立中 11校

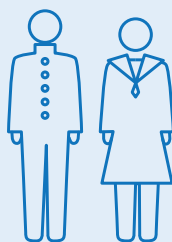
401名 → 963名



- | | |
|---------------------|-------------------|
| • 小石川中 14名 → 71名 | • 三鷹中 80名 → 87名 |
| • 武蔵高附属中 56名 → 101名 | • 両国高附属中 1名 → 80名 |
| • 立川国際中 83名 → 125名 | • 白鷗高附属中 3名 → 73名 |
| • 大泉高附属中 37名 → 104名 | • 区立九段中等 2名 → 64名 |
| • 富士高附属中 25名 → 99名 | • 桜修館中 6名 → 63名 |
| • 南多摩中 94名 → 96名 | |

都立高
(進学指導重点校)

243名 → 376名



- | | |
|-----------------|-------------------|
| • 日比谷高 7名 → 53名 | • 青山高 7名 → 29名 |
| • 西高 30名 → 39名 | • 立川高 65名 → 72名 |
| • 国立高 72名 → 75名 | • 八王子東高 52名 → 56名 |
| • 戸山高 10名 → 52名 | |

スタイルを確立。

e103 オンラインクラス

■家庭教師Camp

■ 個別教師 Camp

■e103新セミナーライン

界にもオンライン学習が普及しました。enaでは一歩先へ切り込み、通塾するのと変わらない学習環境をオンラインでも実現。通塾のストレスや感染リスクを軽減する「自宅ena」をキーワードに、新しい顧客層の獲得につなげていきます。



自宅がenaの教室です。



塾に通うことなくenaの教室と寸分たがわぬ
授業が受けられる、今までにない画期的なコ
ンセプトの学習塾が誕生!

オンライン個別指導



個別教師Camp

教科書準拠の教材や基礎力を定着させる教材を使った授業で、定期テスト対策に最適な内容を指導。オンラインながら質問しやすい雰囲気や楽しく学べることを重視しています。

オンラインマンツーマン受験指導

家庭教師Camp

「一人ひとりに最適な内容を提供できる」マンツーマン指導のメリットを最大限に具現化した家庭教師Campの学校別対策授業を展開中!

看護医療系に特化したオンライン講座

看護医療受験

ena 新セミ
online

専門予備校だからこそ豊富な受験データと看護医療系受験を熟知したプロ講師の指導をオンラインでも受講可能。毎週定例で指導科（ホームルーム）も実施し、新セミでしか提供できない情報をお伝えします。

滑り出し良好の「ena最高水準」校舎倍増へ。

■ eim 最高水準

2022年度入試において、ena最高水準7校舎から都立進学指導重点校へ85名の合格者（日比谷高26名含む）を輩出しました。今年度より渋谷・三鷹（中1・中3）、両国・大塚・大泉学園・経堂・旗の台・花小金井（中1）が新開講。代々木・国立・門前仲町・北千住・練馬・調布・八王子（中1・中3）を含めた全15校体制となり、さらに多くの生徒を最難関校合格へ導きます。



改革が進む「大学入試」に柔軟に対応。
東大現役合格プロジェクト推進中！

■ eí@ 高校部

「東大現役合格プロジェクト」では、東大入試を熟知した講師陣が入試本番までの学習計画を全面プロデュース。実際に本番で点数をとれるようにするための演習が多く用意されています。

具体的には、通常授業で基礎力(例：英単語・英文法、数学典型問題など)を徹底養成するとともに、実戦型の演習・解説授業も週に1回実施。さらに大問別の演習を日曜特訓、合宿で実施し、全体的な演習を答案練習会や模擬試験で行います。

ポイント1

演習で扱う問題はすべて過去問題を中心にした良問を選択。全講座に参加すれば約20年分の過去問に相当する分量を演習することになります。

ポイント2

学期ごとに三者面談・必勝保護者会を行い、また個別面談を行うことで、現在の進捗状況や入試情報をリアルタイムで把握できます。

一人ひとりに合った 学びを提供。 マイスクール ena から個別 ena へ。

個別 ena

「あたり前のことですが、学習の進度や理解度。そして性格。そのどれもが一人ひとり異なります。そんな生徒ばかりを集めて画一的な指導をしても、理解度に関きが出てくるのは当然のこと。生徒一人ひとりが学習に興味や関心を示し、理解できるようにするためには、指導方法もその生徒に合ったものでなければなりません(マイスクール ena 生徒募集チラシより)」との理念のもと、1998年に開校したマイスクール ena。その想いは2017年から個別 ena としての校舎展開へと継承されています。



11年連続芸大・ 美大現役合格総数 No.1。

ena 新美

2022年度の芸大・美大入試において、ena 新美から1087名(前年973名)もの合格者が出ましたが、そのうち749名(前年684名)が現役での合格者であり、この数字は全国No.1。これで11年連続の現役合格総数No.1となりました。11年前といえば、ちょうどena 新美が学究社グループに新しく加わった年。「新宿美術学院」の時代から確固たる実績を誇っていました。ena 新美」となつてからもグループ内の相乗効果もあり、合格実績は右肩上がりです。



広報誌「GAKU」の表紙がena 新美の在学・卒業生の作品が飾っています。

新セミダブル学習システム始動。

ena 新セミ

ena 新セミでは、2021年9月から「新セミダブル学習システム」を本格運用。従来からのライブ授業に加え、一部教科において単方向映像授業を視聴できるシステムです。映像授業教材は月単位で配信し、ライブ授業と同じテキストを使用。校舎のライブ授業と映像授業を組み合わせることで、各教科安定した学習量をさらに確保することができます。



ライブ授業



映像授業

+

プラス

帰国子女・ 海外子女を 23校舎で応援中。

ena 国際部

学校の情報を集めて、見学して、行きたい学校を決める。「受験」は日本国内にいても大変なもの。それが海外で暮らすご家庭であればなおさらです。そんな帰国子女や海外子女が受験に備えるためのサポートをena 国際部は行っています。現在、世界23校舎で展開中です。

〈北アメリカ〉



ニューヨーク校
ニュージャージー校
ワシントンD.C.校/シカゴ校
ダラス校/ヒューストン校
デトロイト校
サンフランシスコ校
サンノゼ校/ロサンゼルス校
アーバイン校/トロント校

〈アジア〉



渋谷校
東京校
あざみ野校
西船橋校
シンガポール校

〈ヨーロッパ〉



ロンドン校イーリング教室
ロンドン校フィンチリー教室
デュッセルドルフ校
フランクフルト校
アムステルダム校
ブリュッセル校

インターエデュ・ドットコムは 受験と教育の情報サイトです。

inter-edu.

インターエデュは、受験にまつわるさまざまな悩みや疑問の解決をしたり、学校・塾の評判を知ったりできる「掲示板」を中心に、月間100万人を超える方々にご利用いただいているサービスです。そのほか、注目の学校・塾の特集、専門家による連載コラム、教育におけるホットな話題を掘り下げたレポートなど、お子さまを持つ保護者のみなさまに役立つ記事コンテンツも充実。また、先生が自ら情報発信をする学校公式ブログ「エデュログ」では説明会だけでは伝えきれない学校の魅力が日々、公開されています。

小学部

冬期講習会のねらい

年末年始はどうしても気が緩みがちで、後期に学習した数々の単元を忘れかけるタイミングでもあります。この時期にしっかりと復習することが、確実な知識の定着にも重要なことです。また小6は受験に向けた最後のまとめ。各教科本番型の問題に大問単位で取り組み、得点をアップさせましょう。短い日数の中で集中的に学習できる冬期講習会は、学年を問わず大きく学力を伸ばすチャンスです。



特集②

enaの冬期講習会

小中学部

受験生にとっては入試直前の最後の追い込み、
非受験生は新年度に備えるための大切な時期。
冬期講習会や正月特訓をはじめ、冬の学習のポイントをご紹介します。

冬期
講習会も

ダブル 学習システム

原則「全学年」「全教科」「全コース」が、
実力派教師陣多数登場の単方向映像授業に
対応。対面授業と映像授業との融合により、
効率的かつ計画的に学ぶことが可能です。



いつもの校舎での、いつもの教師による

対面授業

+



全校から選抜された教師陣による

単方向映像授業

小6教科別のポイント

■ 作文

入試問題をベースに作成した読解、作文問題を毎日解きます。集中して問題演習に取り組むことで、「指定時間内に作文を書き切る力」「指示や条件に従った作文を書く力」を定着させます。また、作文を書くために書いてしまうことが出てきます。しかし、本番ではあくまで求められた内容を、求められた形で書かなければ点数にはなりません。本番に即した解法を練習し、身につけた読解力・作文力が、得点につながるようにしていきます。

■ 文系

文系で大切なのは、与えられた会話文や資料を指示された条件通りに読み取って解答することです。入試頻出の問題に多く取り

■ 理系

組むことで、「会話文と資料とを連動させて読み取る力」を定着させます。また本番に向けて「時間」を意識することも重要です。数多くの問題を解くことで、本番の適性検査Ⅱの大問2（文系分野）を短時間で処理し、より多くの時間を大問1、3の理系問題に割けるように練習を積みみます。

都立中をはじめとする公立中高一貫校の適性検査や私立中入試の思考力問題の理系分野の問題では、与えられた情報をもとに論理的に思考・判断する力が求められます。問題文から解決するべき課題を把握し、それを筋道を立てて説明する必要があります。そのために、算数分野の問題では「情報を整理して書き出したり図解したりして考える」こと、理科分野の問題では「実験観察の目的を把握し、仮説を立てて考える」ことを徹底的に学習します。

中学部

冬期講習会のねらい

冬期講習会は、既習単元の体系的な理解を深めるための絶好の機会です。苦手科目の対策も含めて、確認テストで知識の徹底定着を目指しましょう。また中3にとってはラストスパートの時期。出題が予想される分野を中心に、過去に出題された入試問題を積極的に取り入れながら充実した量の演習を積みしていきます。この冬期講習会の頑張りが来春の合格につながるので、高い目的意識を持つことが大切です。



冬期講習会スケジュール

2022年12月								2023年1月								
24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
小6・中3 頻出・予想問題 特訓		冬期講習会各コース					小5・小6・中3 正月特訓	休校日	小5・小6・中3 正月特訓	冬期講習会各コース					小4・小5 ウィンター キャンプ	
							小6・中3 正月合宿									

※学年によって開講日数が異なります。詳細な日程・時間割は各校舎よりご案内いたします。

中3教科別のポイント

国語

冬期講習会では「いかに高得点を取るか」という点にこだわっていきます。そのために過去に出題された入試問題の演習を徹底し、知識の充足と不正解だった設問の振り返りに取り組みます。また作文では、高得点につながるポイントを踏まえ、一人ひとりに合わせた細やかな指導を行います。

数学

入試本番では、時間配分に注意して、できる問題を確実に解き切ることが大切です。そのために冬期講習会では「迅速で正確な計算力」「関数、図形に関する公式や解法パターン」「1点でも多く得点できる記述力」を身につけるべく、集中して学びます。

英語

長文読解では「時間内に得点すべき問題を解き切る力」、書き換え問題や並び替え問題など総合的な問題では「短時間で正確に解く力」の定着を目指します。そのために過去に出題された入試問題をはじめ数多くの読解問題に取り組み、得点につながる正確性を向上させます。

理科

過去に出題された入試問題を通じて知識を総点検し、すべての分野において穴がないようにします。そのうえで入試のポイントとなる地学の「天体」、物理の「運動とエネルギー」を得意分野にしておきましょう。また長文や多くの資料を見て解く問題にも数多く触れることで解き方を習得します。

社会

過去に出題された入試問題を中心に演習し、地理は「地図上での場所の確認と世界地理の強化」、歴史は「全体の流れの確認」と主要年号の暗記、公民は「政治分野を中心とした基本事項」を最低限押さえておきましょう。



非受験（検）学年 のポイント

小学部

【小3】

算数は上位学年になっても躓きやすい「小数、分数」について集中的に練習。国語は「考えながら読む」ことで、他教科にも通じる論理力が身につきます。毎日の小テスト、復習教材を通して、少しずつ積み重ねていくことで成長していくことを実感させるとともに、勉強することの楽しさを学ばせます。

【小4】

冬期講習会では国語の記述問題、算数の小数、分数、平面図形、立体図形に加えて、理科の天体や社会の地理についても復習します。小3同様、毎日の小テストで学力の定着と、できるまで練習してくる習慣を身につけ、小5と同じ講習日数で学力を大きく伸ばします。

小3・小4はより楽しく、
より力をつけられる教材を使用。



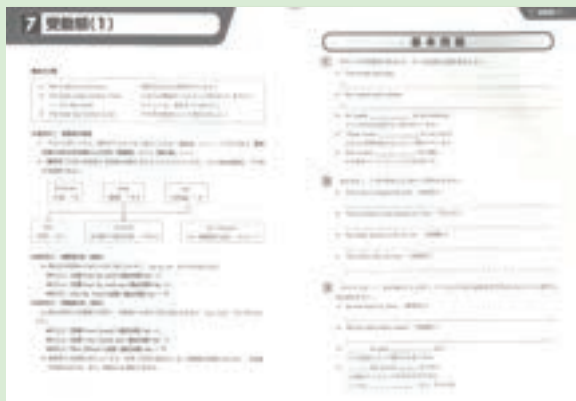
【小5】

小6からはいよいよ全面的に適性検査型の学習がスタート。小5は教科型学習と適性検査型の学習への橋渡しの時期でもあります。思考力問題を解くために必要な「考える際の材料となる知識」や「論理的な考え方」などは小5時点で完成させる必要があります。冬期講習会はきわめて重要な8日間です。

講習用テキストのパースペクティブも自信作!



▲小5 理系



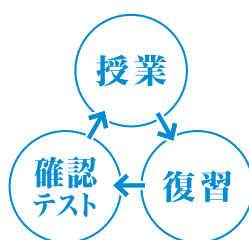
▲中2 英語

中学部

【中1】

中1の学習内容は中2につながっています。冬期講習会で苦手科目を早期克服し、中1の学習は中1のうちに完璧に終わらせて、しっかりした土台を築きましょう。「毎回の確認テストで満点を取る」「授業の当日に復習して後回しにしない」ことを意識し、授業、復習、確認テストの学習サイクルを確立してください。

【中2】



年が明ければ受験学年になるという意識を持つことが大切です。そのためには冬期講習会を通じて、集中力が持続する時間を少しずつ伸ばす、毎回の授業をその日のうちに復習して定着させるなど、受験生としての学習スタイルを確立させましょう。また受験では中1、中2の内容も多く問われるため「復習」にもしっかりと取り組むことが必要です。

正月合宿・特訓

小学部

正月合宿では、同じ志望校の生徒が集まり、ライバルたちと切磋琢磨してお互いを高め合える貴重な3泊4日を過ごせます。一方、正月特訓では、年末年始で他の受験生たちが一息ついている間に、長時間の学習を頑張ることで差をつけることができます。また冬期講習会からの学びを継続させる意味でも、大きな効果が得られるはずです。なお正月合宿も正月特訓も、もちろんenaを代表する教師陣が授業を担当します。

中学部

正月合宿では、年末年始の喧騒とかけ離れた環境で、勉強にだけ専念することができます。一方の正月特訓は、本番を想定した実戦演習に数多く取り組める、入試に向けた総仕上げです。入試本番と同様の緊張感に包まれた中で学ぶことで、合格への強い意識も高まります。なお正月合宿、正月特訓ともに、仲間でもありライバルでもある他の校舎の生徒たちと切磋琢磨することで、学力だけではなく、精神力や集中力も大幅にアップします。

【小6・中3対象】

頻出・予想問題特訓

冬期講習会直前2日間完成の特別講座。入試頻出・予想問題の解説を選抜された教師による授業を行います。

冬期講習会前に、大問レベルで「本番において頻出の問題」「2023年度入試の予想問題」を複数パターン練習し、都立高校入試や公立中適性検査の典型的な解法の習得と、間違えやすいポイントの克服を行います。enaの実力派教師たちによる明快な解説により、校舎での冬期講習会に先んじて本番の得点を伸ばす特別講座です。

■日程：2022年

12月24日(土)・25日(日)

■特徴

- 入試頻出の重要テーマに絞ったテキスト
- 単方向映像も講座の特性に合わせた特別仕様
- 単方向映像は1月末まで視聴可能

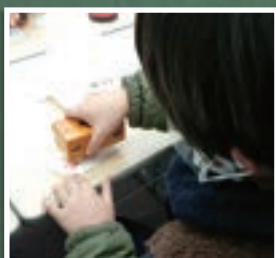
【小4・小5対象】

ウィンターキャンプ



「船津胎内樹型」

溶岩が作り出した、洞窟の中を探検しよう



「クラフト体験(てん刻)」

溶岩の成分で出来たやわらかい石を使い、オリジナルはんこをつくろう



「鳴沢氷穴・富岳風穴ノ森の散歩」

自然が作り出した天然の冷蔵庫に入ってみよう



毎回大好評の「自然体験合宿」の冬期版「ウィンターキャンプ」。
東京ではなかなか味わえない、雪の感触や自然の作りだす神秘的な地形に触れられる2日間です。

■日程：2023年

1月8日(日)・9日(月・祝)

■宿泊場所：ena富士山合宿場2号館

冬期講習会のねらい

入試本番が迫る高3は、テスト演習＋解説授業が中心となり、得点力アップを図ります。またテーマ別や大学別講座で、実戦問題演習量を確保します。非受験学年では、単元別の学習から複合的な学習へとシフトしつつ、演習授業も増やし、次年度以降の受験を見据えます。

各学年の冬の学習ポイント

【高3】

冬は得点力を磨くために何をすべきかを明確にすることが大切です。講習では実戦演習の場を多く設定することで、各科目で10点が取れるように指導していきます。また、各自の出願校の過去に出題された入試問題の演習は常に行い、各大学の問題との相性や得点の自己分析をすることも重要です。enaではenaノートを用いて、過去に出題された入試問題の得点状況を細かくチェックし、それに基づき出願校の最終判断をしていきます。

【高2】

志望校を見据え、科目ごとの課題を見つけ出して対策すべき時期です。既習範囲の復習を行いつつ、新規範囲の学習にも取り組んだり、単元別の学習とともに単元の枠を超えた学びにチャレンジしたりなど、視野を広げた学習を意識し、受験学年へと動き出します。

【高1】

基幹科目(英語・数学)を中心に、重要単元の先取り学習を行い、基礎知識の習得を目指すとともに、高2を迎える前に共通テストに向けた演習なども行います。また既習範囲を見直して弱点をあぶり出し、今のうちに克服しておくことも大切です。



eina高校部

〈冬期講習会〉

2023年度入試動向

2022年度入試では、共通テスト志願者は前年比で約1割減少しましたが、その内訳は現役志願者は前年比103%、既卒生が前年半数以下というものでした。これから2024年度までは18歳人口が減少を続け、より現役生中心の入試になると言えます。そのため、難関大含め大学入試は競争緩和の局面に入ったと言えます。入試形式の変化、主体性評価の導入や記述力・表現力を重視する動きなど、各大学の今後の動向に注意が必要です。個別の相談はぜひenaまでお問い合わせください。

●国公立

共通テストの平均点が前年比で大きくダウンし、その影響が懸念されましたが、前期試験の出願者は前年並みとなりました。共通テスト3年目の今年も引き続き試行調査の問題を含めて入念な対策が求められます。学部系統では、「理・高文低」「資格系統」の人気は今後も続きそうです。国公立大では一橋大学の学部新設をはじめ、大学・学部・学科の新設・再編が進みます。早めの情報収集が必須です。

●私立

私立大の一般入試の志願者は、一般方式・共通テスト利用方式ともに前年比で100%とあまり変わりませんでした。一方で合格者は前年比で108%と大幅に増加しており、18歳人口の減少と、定員増加などによって競争緩和が進んでいると言えます。私立大では今後も入学定員増や学部新設の動きもあり、この傾向は続くと見られ、私立大志望者にとっては積極的に挑戦できる環境になりそうです。





国立大学受験部、
吉祥寺高校部、
オンラインclassの
冬期講習会お申し込みはこちら

最高水準クラス・選抜クラス・標準クラス・
一貫校クラスを備えた、高3〜中2まで
を対象とする総合型校舎です(中3・
2は一貫校クラスのみ開講)。東大・一橋
大・東工大・医学部等難関国立大を志
望する生徒から、早慶・MARCH等の
人気私立大を志望する生徒までが通っ
ています。高3は志望校合格に向けた入試
問題演習を、高2は本格的な受験勉強を
開始するための導入学習を、高1〜中2
は現学年の終盤〜次学年の最初に扱う
単元の先取り学習を行います。

eina 国立大学受験部

〈冬期講習会〉

eina 高校部 冬期講習会時間割(高2・1) 【I期】12/21~24, 【II期】12/27~30, 【III期】1/4~7

【国立校】

講座名		開講日時	
高2英文法・作文S	II	12/28-30	17:40~19:00
高2英文法・作文A1	II	12/27-30	18:00~19:00
高2英文法・作文A2	II	12/27-30	18:00~19:00
高2英語長文S	II	12/27-30	19:10~20:10
高2英語長文A1	I	12/23	18:00~19:00
	II	12/28-30	19:10~20:10
高2英語長文A2	I	12/21-22	19:10~21:20
高2数学IA・IIB S1	III	1/4-7	19:15~21:20
高2数学IA・IIB S2	III	1/4-7	19:15~21:20
高2数学IA A	III	1/4-7	19:15~20:15
高2数学IIB A	III	1/4-7	20:20~21:20
高2数学III	I	12/23-24	19:10~21:20
高2古文S	I	12/21-22	19:10~21:20
高2古文A	II	12/27-30	20:20~21:20
高2現代文S	II	12/27-30	16:30~17:30
高2現代文A	III	1/4-7	18:00~19:00

※時間割は教育上の配慮等により変更となる場合があります ※各講座60分×4コマです ※クラスの「SS」は最高水準クラス、「T」は東大クラス、「S」は選抜クラス、「一貫」は中高一貫校専用クラス、それ以外は標準クラスです ※高2数学IAIIBのSクラスはIAとIIBを連続して実施しますので、どちらかのみを受講することはできません

講座名		開講日時	
高1英語SS	I	12/23-24	19:15~21:20
高1英語T	I	12/23-24	18:00~19:00
	III	1/6-7	18:00~19:00
高1英語K	II	12/27-30	20:20~21:20
高1英語A	II	12/27-30	20:20~21:20
高1数学SS	I	12/21-22	19:15~21:20
高1数学T	I	12/23-24	19:10~20:10
	III	12/29-30	18:00~19:00
高1数学K		12/18,25	18:40~20:45
高1数学A	III	1/4-7	20:20~21:20
高1数学一貫	III	1/4-7	18:00~19:00
高1古文SS	III	1/6-7	19:15~21:20
高1古文T	II	12/27-30	19:10~20:10
高1古文K	II	12/27-30	19:10~20:10
高1古文A	I	12/23-24	19:10~21:20

eina 高校部 冬期講習会時間割(高2・1)

【I期】12/21~24, 【II期】12/27~30, 【III期】1/4~7

【吉祥寺校】

講座名		開講日時	
高2英語	I	12/23-24	20:20~21:20
	III	1/6-7	20:20~21:20
高2数学IAIIB	II	12/27-30	19:10~20:10
高2数学III	II	12/27-30	20:20~21:20
高2古文	III	1/4-5	19:10~21:20
高2現代文	I	12/21	19:10~21:20
	I	12/24	18:00~20:10
高1英語	I	12/22	18:00~20:10
	III	1/5	18:00~20:10
高1数学	III	1/6-7	18:00~20:10
高1数学一貫	II	12/27-30	18:00~19:00

※時間割は教育上の配慮等により変更となる場合があります
※「一貫」は一貫校専用クラスです

最高水準クラスのみの特化した、難関
国立大現役合格のための校舎です。
高3は志望校合格に向けた共通テストと
2次試験向けの入試問題演習を、高2
は難関大向けの受験勉強を開始する前
のテーマ別の問題演習を、高1は高1の
終盤〜高2の最初に扱う単元の先取り
学習を行います。

eina 高校部
eina 最高水準
吉祥寺 高校部

〈冬期講習会〉

eina 高校部 冬期講習会時間割(高2・1)

【オンラインclass】

講座名	開講日時	
高1英語	12/27-30	20:20~21:20
高1数学	12/18,25	18:40~20:45
高1古文	12/27-30	19:10~20:10

高1の最高水準クラス(英語・数学・国
公立クラス(英語・数学・古文)の2レベ
ルの授業を開講しています。国立校で
行っている授業をライブ配信し、自宅に
いながら対面授業とほぼ同じ状況で学
習を進めることができます。

eina 高校部
eina オンライン
class

〈冬期講習会〉

冬期講習会のねらい

「受験に強い個別指導」として、enaのノウハウを個別指導で実践しています。学習量の確保と数多くの実戦演習を積むことで、合格に向けた最適な指導を行います。また、受験をしない学年のお子様は1、2学期の復習と3学期の予習を行います。今後の受験を見据えた勉強方法を伝授いたします。

正月特訓

多くの個別指導塾は正月に休講となりますが、個別enaでは正月特訓を実施しております。入試を直前に控えた時期に実戦形式で、志望校対策を徹底に行います。個別enaでは正月期間も勉強を休めることはありません。



個別ena

〈冬期講習会〉



enaグループの個別指導部門として、多岐にわたる進学ニーズや受験スタイルに応えた個別指導を行っています。enaのノウハウを駆使しながらも一人ひとりに合わせた最適な指導を実践しています。

個別enaが選ばれる
3つの特徴

● 365日の学習

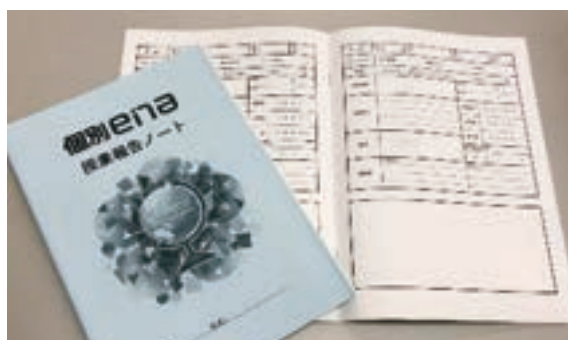
本科授業や特訓授業の他、オンライン学習サービスの家庭教師Camp、個別教師Campを併用することで毎日の学習を実現しています。

● 充実したカリキュラム

学年ごと、進度ごとにカリキュラムを作成して授業を行っているので、お子様に合った進度で学習を進められます。

● 定期テスト満点対策

中高生は主に学校の授業進度や個人の理解度に合わせ「定期テスト対策」を中心とした授業を行っています。また公立中学生は教科書完全準拠テキスト「enaワーク」で定期テスト+20点を盤石なものにしています。



家庭教師Camp

〈冬期講習会〉

オンラインマンツーマン指導の家庭教師Campでは、11月25日(金)から1月7日(土)にかけて、冬期講習会を実施します。「オリジナルコース」「特別講座」「正月特訓」の3つのプランで、現状や目的に応じた勉強を行い、志望校合格に導きます。

オリジナルコース

目的に合わせて自由に学習できます。受講前に家庭教師Campスタッフとオンライン面談を行い、学習状況や目標達成に必要なことを確認し、受講内容を決定します。その内容をもとに学習計画表を作成いたします。授業はオンラインマンツーマン形式で、理解度に合わせて指導を行います。

特別講座

都立中・難関私立中・都立高自校作成校の出身の教師が、学校別の対策指導をマンツーマンで行います。志望校に特化した指導で、合格への最短経路を目指します。

正月特訓

12月31日(土)・1月2日(月)・3日(火)の3日間で、一人ひとりに合わせたオリジナルカリキュラムによるマンツーマン指導を行います。また、元日は各都立中の出題傾向に合わせた作文講座「元日作文3番勝負」も開講します。



個別教師Camp

〈冬期講習会〉

オンライン個別指導の個別教師Campでは、11月25日(金)から1月7日(土)にかけて、冬期講習会を実施します。目的に応じて、教師1対生徒最大2の「個別指導コース」と、教師1対生徒最大8の「冬の自立学習コース」をお選びいただけます。

個別指導コース

自分の学習状況や目的に合わせて受講回数や教科をお選びいただけます。学校フォローや受験準備のための実力錬成など、様々な受講方法が可能です。受講回数や進め方などお悩みの方は、オンライン面談やメールでのご相談なども承っております。お気軽に個別教師Camp事務局にご相談ください。

冬の自立学習コース

12月27日(火)から30日(金)、1月4日(水)から7日(土)までの計8日間、定額で1日160分自立学習の授業を受けられる特別講座になります。8日間フルの参加で計1280分の学習時間を確保できます。参加者はオンライン上の個室に分かれて学習を進めますので、他の参加者を気にすることなく勉強できます。教師がそれぞれの部屋を巡回し、進捗管理や質問対応を行いますので、その場で疑問点を解消できます。



冬期講習会のねらい

看護医療系学校の一般入試は、専門学校が12月初旬から1月下旬、大学が1月中旬以降となっており、他の大学入試に比べると早い展開になります（※左図参照）。ena新セミの冬期講習会は、看護医療系入試の特徴を踏まえた基礎単元の確認講座から、学校別の実践的な入試対策講座まで、幅広いニーズに応える講座を用意。さらにほとんどの学校で必須となる面接対策も各校でご相談に応じます。

看護医療系学校の入試時期		
	大学入試	専門学校入試
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

総合型選抜・学校推薦型選抜入試
一般選抜入試

※右記はあくまで一般的な時期のイメージとなり、当てはまらないものもあります。



ena 新セミ

〈冬期講習会〉

大晦日・正月特訓

12月31日から1月2日に開催される「大晦日・正月特訓」は、どうしても緩みがちな年末年始気分を一掃するだけ为目的ではありません。ena新セミ精鋭の講師陣が入試頻出のテーマをコンパクトにまとめて講義するなど、入試直前期のモチベーションアップにうってつけの講座です。



大学受験に向けた 冬の学習ポイント

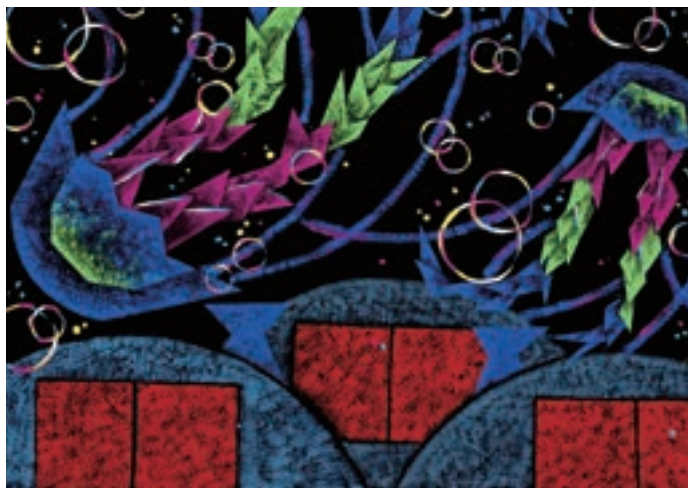
国公立大は、まず何よりも共通テスト対策が重要です。冬の時期は、自分の特性に合わせたバランスの良い学習が不可欠となります。私立大は、入試問題が一般の入試に比べて特徴的な問題が多いので、実践的なトレーニングが必要です。高得点が必要とする大学も多いので、基礎学力の確認も欠かせません。

短大・専門学校 受験に向けた 冬の学習ポイント

短大・専門学校の入試は面接を重視する学校が多いので、どうしても面接対策に偏りがちです。しかし一般選抜は、学科試験の得点がベースになるので、学科試験で高得点を取る学力の養成が不可欠です。基礎学力と学校別の特徴に合わせた学習が求められます。

冬期講習会のねらい

入試本番を見据え、より各志望校の傾向に合わせた実戦的内容で冬期講習会に臨みます。特に実技だけでなく、学科試験のウエイトが高い学校もあるので、英語・国語などの学科受講は必須。今年から正月特訓も開講されます。過去に出題された入試問題や予想問題に数多く取り組み、高得点を狙います。また大学・専攻ごとの傾向をより意識し、各コースによってポイントがズレないよう心がけましょう。不明点はどんなことでもena新美にお問い合わせください。

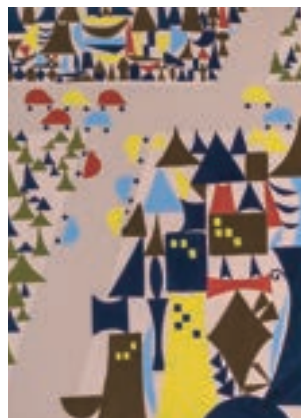


ena 新美

〈冬期講習会〉

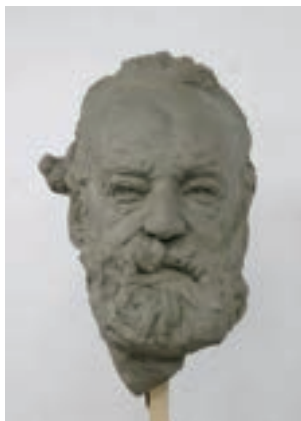
現役生にとって冬期講習会は、夏期講習会同様に、実技時間を普段より長く確保できるので、より完成度の高い作品を描くことができ、実技の伸び率が一気に上がる、評価される視点や技術を修得できます。また講習会の後半でコンクールを実施することで、現状の自分の実力を見極め、入試本番に向けての指針を定める機会にもなります。

大学受験に向けた 冬の学習ポイント



都立総合芸術高校対策は、学力と実技対策のバランスが重要ですが、冬期講習会では得点配分の高い実技に磨きをかけるべく、基礎・デッサン力の養成を中心に行います。また着彩の試験の難易度が非常に高いため、いろいろなモチーフを利用して対応できる力をつけます(例：卵のパックなど)。

高校受験に向けた 冬の学習ポイント



〈特集③〉enaの合宿場がさらに充実

富士山合宿場

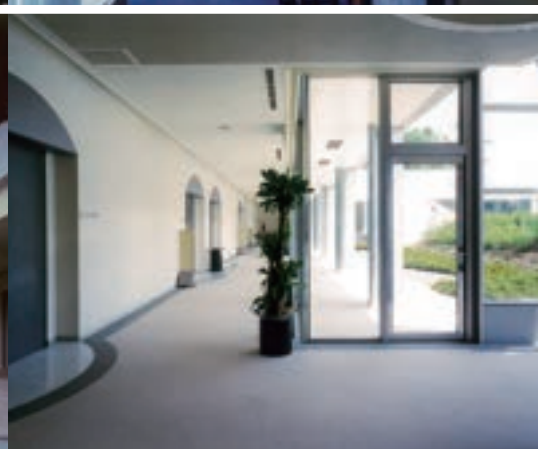
3号館 が誕生。

2022年12月合宿
より稼働予定

富士山周辺の大自然に囲まれたena合宿施設「富士山合宿場」に、3号館が加わります。これまでの1号館、2号館よりも多くの生徒が参加可能な、ena合宿場のなかで最大の施設です。年末年始の3泊4日で実施される小6・中3正月合宿は受験生最後の合宿で、昨年までの富士山合宿場1号館・2号館に加え、新たに誕生する3号館でも実施される予定です。



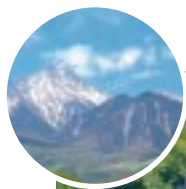
※合宿会場は所属校舎・志望校・学年等により異なります。
※合宿参加は任意です。



富士山合宿場 3号館

住 所：静岡県駿東郡小山町一色2065-56

アクセス：東富士五湖道路「須走IC」より車で約10分(5.8km) / 東名高速道路「御殿場IC」より車で約20分(10.1km)



清里合宿場

大自然の中で勉強だけに
集中できる特別な空間

夏期合宿やサマーキャンプなど、様々な合宿が行われる清里合宿場。夏でもクーラーが不要な過ごしやすい気候の中で、集中力を高めて学習することができます。最初の合宿場として1号館から始動したこの施設は、現在では5号館まで拡張し、より快適で安全な合宿特訓を実現しています。



3号館



5号館



1号館



2号館



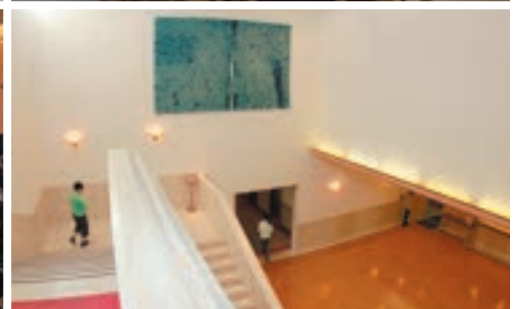
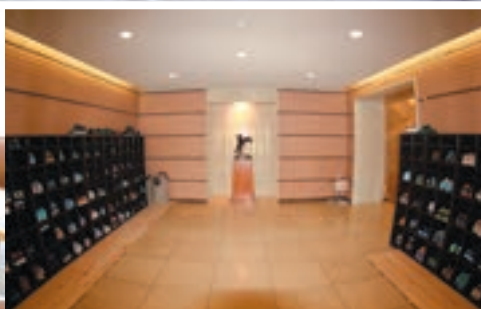
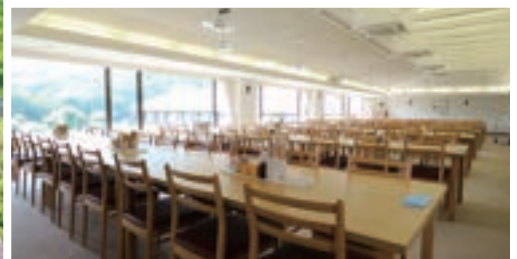
富士山合宿場

雄大な富士山が

目の前に広がる学習空間

2014年より稼働している、約15,000坪
(1号館・2号館合計)の広大な敷地を有する
合宿専用施設が「富士山合宿場」です。
2016年より2号館、2022年より3号
館が加わりました。週末合宿の他、夏期合宿や
GW合宿、正月合宿など、短期間で飛躍的な
学習成果を残す合宿特訓を行います。

旧経団連ゲストハウス



作文強化合宿

4 / 9 (土・10日)	小4作文強化合宿①	小5からの本格的な作文指導に備え、作文や記述問題が苦手な生徒はもちろん、国語が得意なので作文で得点を稼きたいという生徒にも向けた作文の先取指導を行います。
6 / 25 (土・26日)	小4作文強化合宿②	小4の作文強化合宿第二回は練習回。第一回で学んだ書き方の基本を、複数のテーマで書き上げていくことで「書き方を知っている」から、「書ける」まで引き上げます。
9 / 10 (土・11日)	小4作文強化合宿③	小4の作文強化合宿第三回は文章を読んでから書く作文を練習します。本番の適性検査の作文に対応できる書き方を理論から学びます。
11 / 12 (土・13日)	小4作文強化合宿④	小4の作文強化合宿最終回はまとめの回。小5よりも先取りして知っておきたい作文の書き方を理論で確認し、実際に練習を積み重ねます。作文を「得意教科」にしましょう。
4 / 9 (土・10日)	小5作文強化合宿①	小5の作文強化合宿第二回は「読解と作文」がテーマ。本科の学習で学んでいる作文の書き方をより詳細に理論で学び、実際に様々なテーマで書いては添削されて書き直す練習を重ねます。
5 / 28 (土・29日)	小5作文強化合宿②	小5の作文強化合宿第三回は「読解と作文」がテーマ。本科の学習で学んでいる作文の書き方をより本番に近い「文章を読んでから書く作文」に先行して触れることで実践的な練習を行います。
6 / 25 (土・26日)	小5作文強化合宿③	小5の作文強化合宿第四回は練習回。第二回で学んだ「読解と作文」を、より多くの文章作品に触れて練習します。読解問題と作文の理解度に差が生まれがちなこの時期に、自分の弱点を明確化します。
9 / 10 (土・11日)	小5作文強化合宿④	小5の作文強化合宿第四回は本番型の問題に挑戦。近年の適性検査では、文章との関連のさせ方が特殊だったり、内容の指定が細かかったりしますが、本番に近い作文に触れることでアドバンテージを作ります。
11 / 12 (土・13日)	小5作文強化合宿⑤	小5の作文強化合宿最終回は挑戦の回。最新年度の適性検査を模した試験である小5都立中合判に備えて、本番同様の2文型の作文を練習し、小5都立中合判でしつかり実力を発揮できる力をつけます。
4 / 16 (土・17日)	小6作文強化合宿①	小6の作文強化合宿第一回は「ルールを知る」がテーマ。近年の適性検査で出題される形式の問題に触れ、最終的に求められる力が何か、自分に今足りないものは何かを知ると同時に、そのタイプの問題の書き方を理論で知ってもらいます。
5 / 28 (土・29日)	小6作文強化合宿②	小6の作文強化合宿第二回は「書き上げる」がテーマ。小6では本番同様「文章を読んでから書く作文」を普段から練習していますが「文章を読み取れた後」の「作文を書く」段階にターゲットを絞り、様々な内容の作文を書き上げることで、本番で求められる作文の完成形をイメージします。
11 / 26 (土・27日)	小6作文強化合宿③	小6の作文強化合宿最終回は「読解問題練習回」。受検本番まで残り時間の少ないこの時期に、適性検査1の得意力やネグとなりがちな読解問題を多数練習し、パターンごとに正しく読み取る方法を学び、本番の得意力を底上げします。

2022年度に実施した主な週末合宿一覧

算数強化合宿

7 / 9 (土・10日)	小4算数強化合宿①	小4の算数強化合宿第二回は「小数」と「分数」。得意不得意が分かれがちなこの二単元は、四科型入試にも、適性検査にも欠かせない最重要単元です。様々な角度から「小数」と「分数」に触れ、理屈を理解するところから、複雑な問題を解けるようになるまで練習を積みみます。
11 / 5 (土・6日)	小4算数強化合宿②	小4の算数強化合宿第三回は「図形」「規則性」。本科で学んだいろいろな面積や「直方体と立方体」などの平面図形や立体図形「変わり方」から学んでいく「規則性」などは、四科型入試でも適性検査でも頻出であり、マスター必須です。
12 / 3 (土・4日)	小4算数強化合宿③	小4の算数強化合宿第四回は「食塩水の濃度」「売買損益」を中心に、苦手となりがちな割合を克服し、得点源へとつなげていきます。四科型入試においても「適性検査」においても、他教科で求められる「割合」を夏を待たずにこの時期でマスターさせます。
7 / 9 (土・10日)	小5算数強化合宿①	小5の算数強化合宿第二回は「図形」「得意不得意が分かれがちな図形は、どの学校においても必ず出題される、こちらも克服必須の単元です。正しい考え方を学び、練習を積みこくことで必ずできるようになります。
11 / 5 (土・6日)	小5算数強化合宿②	小5の算数強化合宿第三回は「比」と「速さ」。苦手な単元トップクラスの「割合」からつながる「比」ところも苦手な単元トップクラスの「速さ」は、算数だけでなく理科「比率」の学習においても使いこなすことを求められる重要単元。受検学年に上がる前に「出来る」単元とさせます。
12 / 3 (土・4日)	小5算数強化合宿③	毎年どの学校でも必ず本番で出題される「空間把握」や「立体図形」は、得意不得意が分かれやすい問であると同時に、練習をすれば必ずできるようになる問でもあります。過去問を中心に、総合問題を練習するこの時期に、単元を絞って弱点をつぶす最後のチャンスです。
10 / 29 (土・30日)	小6立体図形合宿	「思考力」を問われる適性検査を象徴する実験型の問題も毎年必ず出題されます。事前に何かを暗記しても何も意味はなく、正しく考える手順を学び、あとは何問も練習をすることでしか確実に力を伸ばすことはできません。
11 / 26 (土・27日)	小6実験対策合宿	

学校別合宿

6 / 4 (土)・5 (日)	小6 学校別合宿①	志望校を同じくする生徒たちが集まり、enaの各学校の実績対策責任者たちが指導をする学校別合宿の第一弾。本科で単元ごとに学習している適性検査を解く力を、より本番に近い大問形式で練習します。
9 / 23 (金)・祝 25 (日)	小6 学校別合宿②	学校別合宿の第二弾は、学校ごとの本番より則した問題を扱い、志望校を同じくする仲間たちと切磋琢磨する。泊三日です。実績対策責任者の指導の下、志望校の出題形式に則した問題を練習していきます。
10 / 8 (土) 10 (月) 祝	小6 学校別合宿③	学校別合宿の第三弾も、学校ごとの本番より則した問題を扱います。特に、この回では学校ごとの独自作成問題の練習を重点的に扱います。

中3合宿

9 / 17 (土) 19 (月) 祝	中3 都立高 難関対策合宿	都立難関校の入試問題はいきなり取り組んでもなかなか歯が立たない問題ばかり。今回の合宿では、受験科目全てにおいての「頻出パターン」を繰り返しながら、これまで培ってきた「学力」を「得点力」に変えていきます。ここで入試問題への「取り組み方」と「得点の取り方」を身につけることで、受験勉強後半戦の過し方が大きく変わります。
12 / 3 (土)・4 (日)	中3 理社合宿	理社の得点力がしっかりついてくれば、都立高校の合格がグッと見えてきます。既習単元ながら、苦手にしている人も多い印象を受ける理科の「化学変化と質量」「電流」「社会の「日本地理」などの単元は、裏を返せば強力な得点源。法則や計算方法を学習し、実際に計算練習を重ねることによって確実な得点力を育てます。
12 / 10 (土)・11 (日)	中3 都立高 推薦入試対策合宿	この合宿では都立高校の推薦入試に大きなウエイトをしめる「小論文作文」「面接」の練習指導を行います。「小論文作文」指導では原稿用紙の使い方が始まり、わかりやすい文章、説得力のある文章の書き方、出題タイプ別に指導します。また面接は、実際にやってみて、どこを修正すべきか「面接がわかっていない大人」に指摘してもらうことが大切です。同時に「慣れ」すること、面接に対する心理的なハードルは思っていた以上に低くなるでしょう。名称は「都立高推薦入試対策合宿」ですが、国私立高校を狙っている生徒にも有効です。

体験合宿

7 / 2 (土)・3 (日)	小4・小5・小6 科学研究合宿① 〈テーマ：技術〉	旧石器時代の石器や縄文時代の土器など、原始の時代に生み出されたものから、リニアモーターカーの速度まで、人類の技術が生み出してきた最初期のもの、最先端のものに触れ、その進歩の大きさを体感します。
10 / 29 (土)・30 (日)	小4・小5 自然体験合宿① 〈テーマ：農〉	綺麗にパッケージされて並んでいるスーパーの食材も、どこかでだれかが畑で作って存在しています。作物を収穫し、次の季節の作物を植え、収穫物を料理して食べる体験を通し、私たちの命を支える農業の大切さと大変さ、楽しさに触れてもらいます。
11 / 19 (土)・20 (日)	小4・小5 自然体験合宿② 〈テーマ：木〉	木々と遊び、木々でものをづくり、木々の炎の暖かさに触れ、木々とともに暮らす昔ながらの日本人の生活を体験してもらいます。木々に張り巡らされたアスレチックコースの楽しさ、たき火でつくる焼きマッシュポテトのおいしさは、大人でも夢中になります。
12 / 17 (土)・18 (日)	小4・小5 科学研究合宿② 〈テーマ：探究〉	子どもたちにとって、この世界は不思議でいっぱい。自分が最も興味を持っているものを将来の夢にしようと思っても、大きくなるまでに触れることのできる世界は限られています。自分が楽しい、気になると思えるものにより早く出会うために、様々な分野の科学技術に触れ、自然の中の様々な風景に触れ、面白いと思えるものを自ら見つけてもらう。泊二日です。

キャンプ

4 / 29 (金) 祝 5 / 1 (日)	小4・小5 GWキャンプ 〈テーマ：生き物〉	動物、植物の生きている様子に直に手で触れ、「生きる」ことを考察。牧場での乳しぼり体験を通して動物の生命を、開墾体験やフルーツを自分の手で収穫し、食べる体験を通して植物の生命を体感してもらいます。
7 / 22 (金) 26 (火)	小4・小5 サマーキャンプ 〈テーマ：水〉	多種多様な生き物の棲家としての水。移動する上での通り道としての水、自然の中で流れていく水。様々な姿の水に触れ、水のふしぎにせりつづ、夏の強い日差しの中、水の涼しさを味わってもらいます。
9 / 17 (土) 19 (月) 祝	小4・小5 SWキャンプ 〈テーマ：土〉	やわらかい土、かたい土、それぞれの持つ魅力を手で触れ、足で踏みしめ、堪能します。陶芸教室で自分だけのオリジナル作品を作ったり、東京よりも「足早く」進む紅葉を見ながら、土の道を踏みしめてハイキングしたりします。
1 / 7 (土) 9 (月) 祝	小4・小5 ウィンターキャンプ 〈テーマ：火山〉	富士山世界遺産センターで富士山と火山について学んだ後、流れ来る溶岩に耐えた木々が作り上げた洞穴や、地中にたまったガスが作り出した洞窟、その中の天然の冷蔵庫など、溶岩が作り出した驚くべき地形に実際に足を踏み入れます。

●各講習会（春期・夏期・正月）や大型連休（GW）の合宿については別途実施しています。

富士山合宿場3号館を加え、さらに充実したenaの合宿施設。
2023年度も数多くの合宿を通じて、生徒たちを合格へと導きます。

校舎ブログ発信中

校舎ブログは
こちらから
⇓



校舎の様子をリアルタイムに
伝える「校舎ブログ」

enaは全校舎において「校舎ブログ」を更新し、
校舎の様子をリアルタイムにお伝えしています。
お子様が通われている校舎はもちろんのこと、
気になる校舎やenaオンラインクラスなど、
他の校舎の様子もチェックすることが可能です。
enaの「校舎ブログ」には、各校舎の指導の様子
が余すことなく開示されています。



ついに！小5生がこれから受験までともに過ごす、

金本（都立中過去問題集）が校舎に届きました！！



小5生がやりました！

文系大テスト、学年全員満点！！

〔文系大テストとは、世界の国名や日本の山脈の名前などを暗記するテストです。必ず満点を取るよう
に！と小5のみんなに促しています。〕



ena調べ

今のうちに情報をばす！

11/19(土)から、『新中1準備講座』が地まります！

新中1準備講座とは、地元中学校に入学する予定の生徒を対象とした講座です。

新中1準備講座

11/19(土)から、新中1生を対象とした「新中1準備講座」を開催いたします。

【講座内容】
1. 中学校生活の過ごし方
2. 中学校の授業について
3. 中学校の行事について
4. 中学校の制服について
5. 中学校の体育について
6. 中学校の音楽について
7. 中学校の美術について
8. 中学校の理科について
9. 中学校の社会について
10. 中学校の外国語について

【参加費】
無料

【申し込み】
11月19日(土) 10時～12時

【会場】
ena調べ 東京1区

enaオンラインクラス

【テストは1回と1回2回土】enaオンラインクラス通信9月号

【小4学判】

小4生対象、enaオンラインクラス通信9月号

【小4学判】

小4生対象、enaオンラインクラス通信9月号

ena高橋不動

新中1準備講座

11/19(土)から、『新中1準備講座』が地まります！

新中1準備講座とは、地元中学校に入学する予定の生徒を対象とした講座です。

【小4学判】

小4生対象、enaオンラインクラス通信9月号

ena調べ 東京1区

【ena調べ 東京1区】 11月の予定

11月の予定

11月19日(土) 10時～12時

11月20日(日) 10時～12時

11月21日(月) 10時～12時

11月22日(火) 10時～12時

11月23日(水) 10時～12時

11月24日(木) 10時～12時

11月25日(金) 10時～12時

11月26日(土) 10時～12時

11月27日(日) 10時～12時

11月28日(月) 10時～12時

11月29日(火) 10時～12時

11月30日(水) 10時～12時

ena八王子南口

【ふしぎ発見】 パズル作り

【ふしぎ発見】 パズル作り

【ふしぎ発見】 パズル作り

【ふしぎ発見】 パズル作り

enaオンラインクラス

【小4・小5 ウィンターキャンプ】

【小4・小5 ウィンターキャンプ】

【小4・小5 ウィンターキャンプ】

いいねランキング

10月26日 0:00～23:59に「いいね」された件数のランキングです。

※現在の各ページの「いいね」件数は、累計となります。

ena調べ(25いいね)

ena調べ(25いいね)

ena調べ(25いいね)

ena調べ(25いいね)

ena調べ(25いいね)

ページビューランキング

10月26日 0:00～23:59の「ページビュー数」のランキングです。

ena調べ(302PV)

ena調べ(302PV)

ena調べ(302PV)

ena調べ(302PV)

ena調べ(302PV)

「校舎ブログ」では、その日にもっとも多く閲覧された校舎が分かる「ページビューランキング」や、もっとも「いいね」を押してもらえた校舎がわかる「いいねランキング」も日々更新されています。

ここにも注目！



塾生専用アプリ ena-base

いつでも、どこでも様々な情報をご確認いただけるように、随時機能を追加していきます。

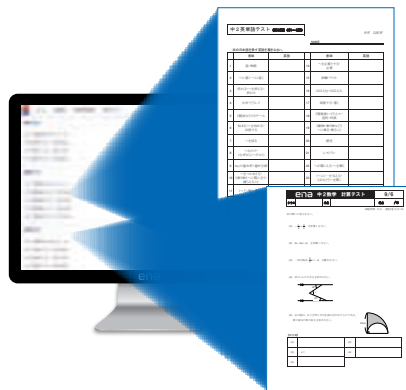
ena-baseは2022年3月に誕生したena生専用のアプリです。これまでコックピットサポートにあった機能を最終的にはすべてアプリへと移行する予定です。スマートフォン、タブレットにアプリをインストールいただき、ご利用ください。PCにてログインいただくことも可能です。

生徒情報

氏名や通学校舎、受講科目の他、ご登録いただいたメールアドレスを確認いただけます。メールアドレス、パスワードの変更も行えます。

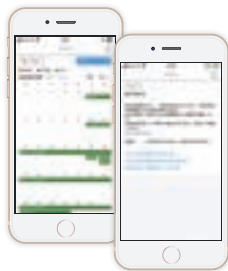
各種小テスト

小テストは原則各校舎にてプリントをお配りし実施しますが、復習等で再度取り組みたい場合、アプリ内で閲覧したり、ダウンロードしたりすることが可能です。



イベント

学年別にカレンダー形式でイベントや授業などの予定を確認いただけます。



ena-baseトップページ



単方向映像授業

本科授業や日曜特訓、学力判定テストや日々の学習、ふしぎ教室など、各種単方向映像授業をアプリ内で視聴いただけます。



お知らせ

ena本部から、さらにはお通いの校舎から直接様々なお知らせを配信します。本部、または校舎からの連絡ツールとして随時ご確認ください。



※2022年11月時点でのena-base機能をご紹介します(今後新たな機能が随時追加されます)。

コックピットサポートの各機能をアプリへ移行予定

コックピットサポートは2009年より利用されてきたena生専用サイトで、現在もご利用いただけますが、今後各機能をすべてアプリena-baseへ移行予定です。



※画像はイメージです。

- 入退室メールの送信・履歴確認
 - 本部へのご要望・ご相談フォーム「すぐやる課」
 - 校舎へのご要望・ご相談フォーム
 - 各種模試の成績情報確認
 - 校納金ご請求情報の確認 など
- さらに「コックピットサポート」にはなかった新たな機能も追加予定です。ぜひena-baseをご活用ください。

今話題の探究型学習

探究 Camp

小1～小4対象

■プログラムの流れ

- ・1週目 **【課題発見】** 教師や仲間たちと対話しながら、探究するテーマを見つけます。
- ・2週目 **【整理・分析】** 集めた情報を整理し、自分なりに納得できる答えに向けて分析していきます。
- ・3週目 **【まとめ・表現】** わかったことを他の人に伝えるために、わかりやすいまとめ方を考えます。
- ・4週目 **【発表】** 実際に発表を行い、学習を完成させます。

■4週間で1つのテーマを完成

テーマ例 「算数」「ことば」「メディア」「宇宙」「SDGs」「実験」「生物」「偉人」「学びのタネ探し」

■要項

- 日 時：月曜～土曜、16:00～16:40、16:40～17:20 ※日曜・祝日除く
- 対象学年：小1～小4
- 料 金：6,600円(税込)/月4回
- 指導形態：オンライン少人数指導(教師1:生徒4)

詳細は
こちら→



自ら課題を発見し、それに対する調査や分析を通して学びを深めていく探究型学習。社会に出てから必要とされる力と言われますが、まだまだ知識を吸収している途中の小学生にとっては非常に難しいことです。そこで個別教師Campで開講している探究Campでは、お子様が興味を持ってそうなかテゴリをあらかじめご用意。気になるカテゴリについて、担当教師がお子様の「もっと知りたい」を引き出します。探究するテーマの決め方から調査・分析の方法、まとめ方まで、探究Campがサポートいたします。

子供たちを自ら課題を発見し、解決できる人に育てます。

頭がよくなるライブ配信

Camp らいぶ

Instagramで配信中!

■番組タイトル紹介



・あいうの勉強相談室
#お悩み解決 #ふたご



・きくんのぶっちゃんけ!都立中
#なんでも質問OK
#都立中



・ギター小僧がおのメロディーで覚える理社
#暗記モノ #即興弾き語り



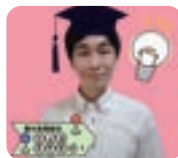
・東大生なかむらまいのイラスト勉強法
#イラスト #楽しく勉強



・東大生ことはのまったり勉強雑談
#まったり #なんでも質問OK



・つーたんの書道で学ぼう
#書道 #クイズ



・東大生岡本のクイズスタディ!
#クイズ
#集まれ雑学ハカセ



・そうまのぶっちゃんけ!東京大学
#なんでも質問OK
#相談待ってます



・英語でライブ!!
#英語 #クイズ



・タニオカ・イシの英会話講座
#英語 #コミュニケーション

その他にも楽しく、ためになる映像が盛りだくさん! 配信スケジュール & 授業スケジュールなど詳しい情報はこちらから



Camp らいぶでは、勉強を楽しくサポートする番組をInstagramで配信中。家庭教師Camp・個別教師Campの教師たちが、勉強のコツや秘密の暗記ワザを伝授します!

ena が埼玉県へ進出!

ena 川口・ena 東川口



ena 川口の
校舎情報はこちら



ena 東川口の
校舎情報はこちら

創立50周年を迎えた進学塾 ena は、東京都で170校舎超を展開し、東京都の公立中高一貫校で圧倒的No.1、かつ都立高校の難関・上位校である都立進学指導重点校・特別推進校・推進校合計877名合格でNo.1となるなど、圧倒的な合格実績を誇ります。

そして、次の50年へ向けたスタートとなる本年、満を持して埼玉県へ進出。ena 川口に続き、ena 東川口も新たに開校しました。2021年度より開校している ena 川口では、開校わずか1年で市立川口高附属中へ3名、さらにオンラインクラス受講生からも1名合格となるなど、埼玉県の入試でも早速結果を残しています。これからさらに埼玉県の入試で存在感を示してまいります。

定期テスト対策教材 enaワーク

教科書改訂にも完全対応。
充実の内容と豊富な演習量を確保。

enaワーク問題集+enaワーク確認テスト
を使った反復学習で学力定着。

「ena定期テスト攻略ノート」で
学習計画を管理。



ena生しか見られない！ 理社単方向映像授業

enaワーク購入者特典の単
方向映像授業です。スマート
フォン・タブレット・PCからい
つでも・どこでも・何度でも見
られる解説動画を活用する
ことができます。



enaの 6つの柱

enaでは定期テスト
満点対策「6つの柱」
で中学生のみなさんを
サポートします。

定期テスト満点対策

〈特集⑤〉

都立高受験に備える

内申点を確保しましょう。

中学生にとって、内申点を確保することは非常に重要です。特に都立高校を目指す方にとっては、合格のために必要不可欠な要素と言っても過言ではありません。内申点確保のためには、学習を主体的に取り組む姿勢が必要です。「定期テストで満点を取る」を合言葉に勉強に臨んでください。

内申点を確保するために必要なこと

- ① 学校の授業の内容を理解・定着させる。
- ② 課題の提出期限は厳守する。
- ③ 学校の授業や先生の話をよく聞き、どんな問題が出題されるか確認する。
- ④ 定期テストの勉強を効率的に行うためにも、授業中に授業内容をすべて理解する。

ena中学部では、定期テスト対策を重視し、各校区で地域の中学校情報を分析しながら様々なサポートを行っています。ただ対策をするのではなく、定期テストで「満点を取る」ことを目標とするのがenaの定期テスト対策です。

各地域にあわせた 定期テスト対策



静かな自習スペース

ena全校には、集中して勉強できる静かな学習環境が整っています。自習中は、ena教師陣に質問することもできます。定期テスト満点对策期間は、enaにお通いでない方も無料でご利用頂けます。



個別質問 対応

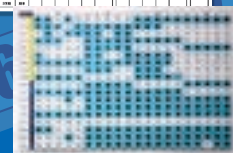
分からない問題を質問したり、困っている部分のアドバイスをを受けたりすることで、効率よく勉強を進められます。



3週間前からの 入念な準備

- *目標設定ヒアリング
- *定期テスト範囲確認
- *暗記事項のチェック
- *結果ヒアリングの実施

科目	目標点	範囲	暗記事項	結果
国語				
数学				
理科				
社会				
英語				
音楽				
体育				
美術				
保健				
家庭				
総合				



定期
テスト後

「結果ヒアリング」の実施



定期テスト本番



1
週間前

学校課題・enaワークの進捗確認・
ペースメイク



2
週間前

定期テスト範囲の確認スタート
暗記事項をena教師陣がチェック！
定期テスト対策授業の実施
定期テスト対策MTGの実施
自習スペースは中学生優先に



3
週間前

定期テスト満点对策期間スタート
「目標設定ヒアリング」実施

定期テストまでの
3週間スケジュール

広報誌「学」

VOL.23

発行:ena企画・広報部

発行責任者:元木 梓

2022年12月1日発行

The logo for ena, consisting of the lowercase letters 'ena' in a white, sans-serif font, centered within a solid blue rectangular background.

個別ena

芸大・美大受験
ena 新美

看護医療受験
ena 新セミ
